

# JSS S-FJ Scholarship



JSS S-FJ スカラシップドライバー三宅淳詞選手の参戦レポート  
FIA-F4 選手権 Rd1 Rd2 岡山国際サーキット  
2019年4月13~14日 参加台数 32台

予選 第1戦 3位 第2戦 3位 天候:晴れ 路面:ドライ

8時5分から30分間の公式予選。前日までの公式練習では、トラフィックや赤旗で走行中止になることが多かったもので、先頭でコースインすると一気にタイムを出すべくアタックに入る。前日のドライビングの反省も生かしつつタイムアップを図るが、まだコーナーでのミスが多少あり、ベストのドライビングとまでは行けない。それは今後の課題として、結局、8周目に出した1分32秒908で第1レースは3位スタート、セカンドタイムは14周目の1分32秒992で第2レースも3位スタートとなった。



## 第1戦 予選結果

Position	Car No	Driver	Entry Name	Time
1	7	佐藤 蓮	SRS/コチラレーシング	1'32.817
2	6	太田 格之進	SRS/コチラレーシング	1'32.879
3	5	三宅 淳詞	HFDP/SRS/コチラレーシング JSS	1'32.908

## 第2戦 予選結果

Position	Car No	Driver	Entry Name	Time
1	6	太田 格之進	SRS/コチラレーシング	1'32.905
2	7	佐藤 蓮	SRS/コチラレーシング	1'32.910
3	5	三宅 淳詞	HFDP/SRS/コチラレーシング JSS	1'32.992

第1戦 決勝レース 順位:14位 天候:晴れ 路面:ドライ

レース後半のペースには自信があったので、まずはスタートでミスをしないように心掛ける。そのスタートは無難に決まり1周目はポジションキープの3位で通過。そして、4周目のウィリアムズコーナーの出口で前を走る6号車がコースをはみ出し、一気に距離を詰める。オーバーテイクのチャンスと、次のアトウッドコーナーでインに飛び込んで行く、しかしブレーキングでリアタイヤがロックしてしまい相手を押し出す形で接触。その後、自身の車にはダメージがなく3位を走行していたが、接触が危険行為と判断されてドライブスルーペナルティーを受けることに、大きく順位を落としてしまった。ピットアウト後には1台をオーバーテイクするものの14位でチェッカーを受けた。

Position	Car No	Driver	Entry Name	Total Time
1	7	佐藤 蓮	SRS/コチラレーシング	23'31.835
2	36	野中 誠太	FTRS スカラシップ F4	23'32.776
3	60	菅波 冬悟	OTG DL F110	23'36.838
14	5	三宅 淳詞	HFDP/SRS/コチラレーシング JSS	24'07.575

## 第2戦 決勝レース 順位:優勝 天候:雨 路面:ハーフウエット

朝から曇天となり細かい雨が落ちる中レースを迎えた。ウエット宣言は出ていたものの全車ドライタイヤ装着でのスタートとなる。ポールポジションの6号車がグリッドを間違え、ペナルティで最後尾スタートとなり、1周減算の14周レースとなった。よって、実質2位スタートになる。2レース目もスタートは無難に決まり2位でオープニングラップを終える。1位の7号車はペースが良く、ついて行くのがやっとの状態だが、4周目のターン1でクラッシュが発生し、セーフティーカーが導入された。このアクシデントの復旧のため8周目までセーフティーカーランとなる。再スタート後、タイヤをうまく暖められていなかったのでペースが上がらず苦しい展開になる。ところが先頭を走る7号車にジャンプスタートの判決が下りドライブスルーペナルティーを受けることに、こうして1位上がることになった。テールトゥーノーズ状態で後続車に攻められていたものの、その後は徐々にペースを取り戻し、少し後ろを離す形でトップチェッカーを受け、初優勝を飾ることが出来た。



Position	Car No	Driver	Entry Name	Total Time
1	5	三宅 淳詞	HFDP/SRS/コチラレーシング JSS	25'52.097
2	60	菅波 冬悟	OTG DL F110	25'52.734
3	36	野中 誠太	FTRS スカラシップ F4	25'53.296

